

和田重次郎顕彰碑建立3周年記念イベント

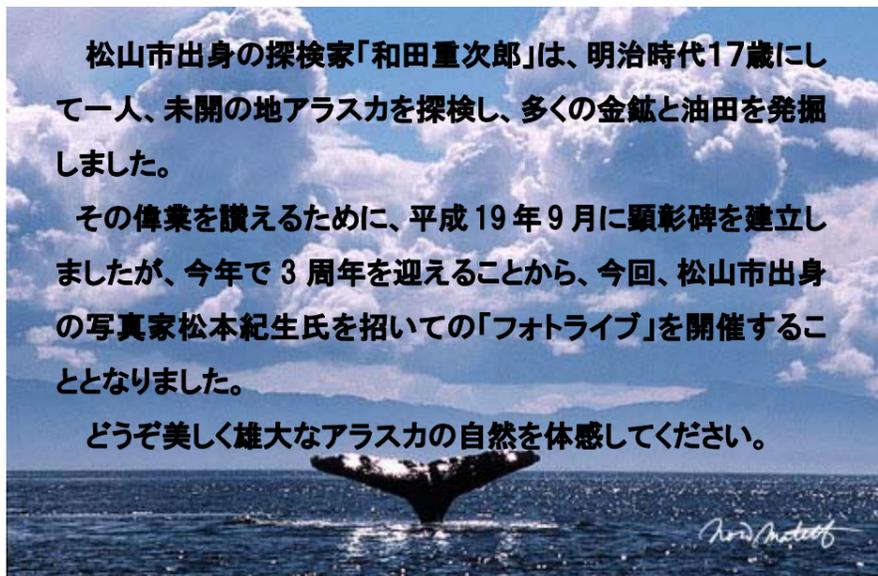
# 松本紀生フォトライブ

WITH 和田重次郎

松山市出身の探検家「和田重次郎」は、明治時代17歳にして一人、未開の地アラスカを探検し、多くの金鉱と油田を発掘しました。

その偉業を讃えるために、平成19年9月に顕彰碑を建立しましたが、今年で3周年を迎えることから、今回、松山市出身の写真家松本紀生氏を招いての「フォトライブ」を開催することとなりました。

どうぞ美しく雄大なアラスカの自然を体感してください。



とき: 2010年9月12日(日) 午後1時  
場所: 松山市総合コミュニティセンター・  
コスモシアター  
(松山市湊町7丁目5 TEL089-921-8222)

**入場料無料**

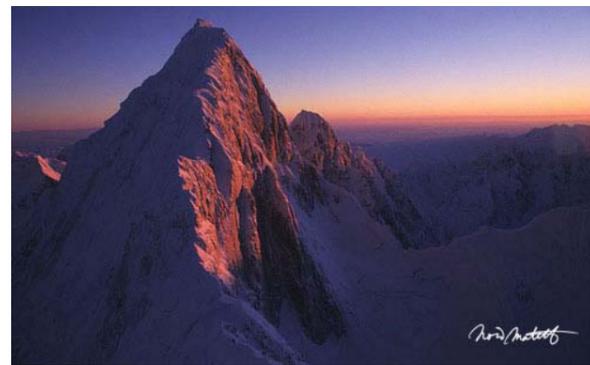
先着50名様に松本紀生氏の写真入り  
ポストカード(2枚セット)をプレゼント!!

フォトライブの後、和田重次郎を描いた  
プラネタリウム番組「オーロラになった  
サムライ」も投影します。

主催: NPO法人和田重次郎顕彰会

協賛: 人材派遣アイティエス株式会社

後援: アラスカ州政府日本支局 / 松山市 / 松山市教育委員会 / 愛媛新聞 / 南海放送 / テレビ愛媛 / あいテレビ / 愛媛CATV



**写真家 松本紀生**

1972. 2. 22 松山市生まれ松山市出身  
大学生の頃、故星野道夫氏の作品に出  
会い写真家を志す。

アラスカ大学へ編入。独学でキャンプや  
写真の技術を習得し現在に至る。  
年の約半分をアラスカで過ごし、夏は無人  
島、冬は氷河の上のかまくらでひとりで生活  
しながら、自然の撮影に専念する。

2004年夏、デナリ(マッキンリー山)登頂。



『National Geographic Adventure』『Audubon』『山と溪谷』『アサヒカメラ』『日  
本カメラ』『週刊新潮』『週刊現代』『Newton』『毎日新聞』等に作品を発表。

2005-06年、新宿エプソンギャラリー『エプサイト』にて個展『アラスカ原野  
行』を開催。著書に『オーロラの向こうに』(教育出版)がある。